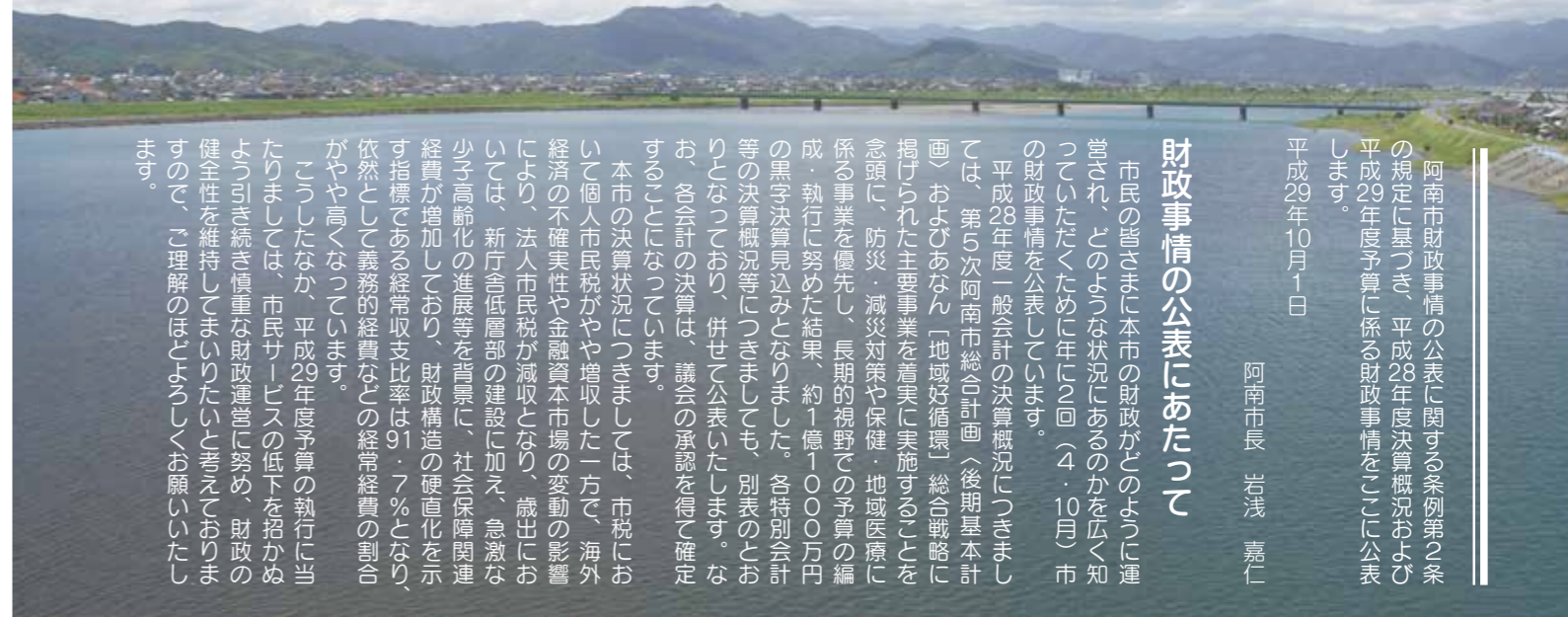


平成28年度決算概況と 平成29年度財政事情のあらまし



阿南市財政事情の公表に関する条例第2条の規定に基づき、平成28年度決算概況および平成29年度予算に係る財政事情をここに公表します。

平成29年10月1日
阿南市長 岩浅 嘉仁

財政事情の公表にあたって

市民の皆さまに本市の財政がどのように運営され、どのような状況にあるのかを広く知っていただくために年に2回（4・10月）市の財政事情を公表しています。

平成28年度一般会計の決算概況につきましては、第5次阿南市総合計画（後期基本計画）およびあなん「地域好循環」総合戦略に掲げられた主要事業を着実に実施することを念頭に、防災・減災対策や保健・地域医療に係る事業を優先し、長期的視野での予算の編成・執行に努めた結果、約1億1,000万円の赤字決算見込みとなりました。各特別会計等の決算概況等につきましても、別表のとおりとなっております。併せて公表いたします。なお、各会計の決算は、議会の承認を得て確定することになっております。

本市の決算状況につきましては、市税において個人市民税がやや増収した一方で、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響により、法人市民税が減収となり、歳出においては、新庁舎低層部の建設に加え、急激な少子高齢化の進展等を背景に、社会保障関連経費が増加しており、財政構造の硬化化を示す指標である経常収支比率は91.7%となり、依然として義務的経費などの経常経費の割合がやや高くなっています。

こうしたなか、平成29年度予算の執行に当たりましては、市民サービスの低下を招かぬよう引き続き慎重な財政運営に努め、財政の健全性を維持してまいりたいと考えておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

4. 歳出の概況

歳出合計 352億1,364万円

維持補修費 2億2,814万円(0.6%)	労働費 2,163万円(0.1%)
積立金 3億3,641万円(1.0%)	災害復旧費 2,588万円(0.1%)
貸付金 5億9,000万円(1.7%)	議会費 2億8,940万円(0.8%)
補助費等 27億9,651万円(7.9%)	商工費 2億9,155万円(0.8%)
繰出金 28億707万円(8.0%)	農林水産業費 8億7,056万円(2.5%)
物件費 47億8,136万円(13.6%)	消防費 11億6,099万円(3.3%)
※ 投資的経費 73億7,660万円(21.0%)	土木費 21億9,337万円(6.2%)
公債費 31億4,775万円(8.9%)	教育費 28億5,168万円(8.1%)
扶助費 61億4,841万円(17.5%)	公債費 31億4,775万円(8.9%)
※ 義務的経費 162億9,755万円(46.2%)	衛生費 32億4,129万円(9.2%)
人件費 70億1,399万円(19.8%)	諸支出金 34億1,747万円(9.7%)
	総務費 69億4,093万円(19.7%)
	民生費 107億6,114万円(30.6%)

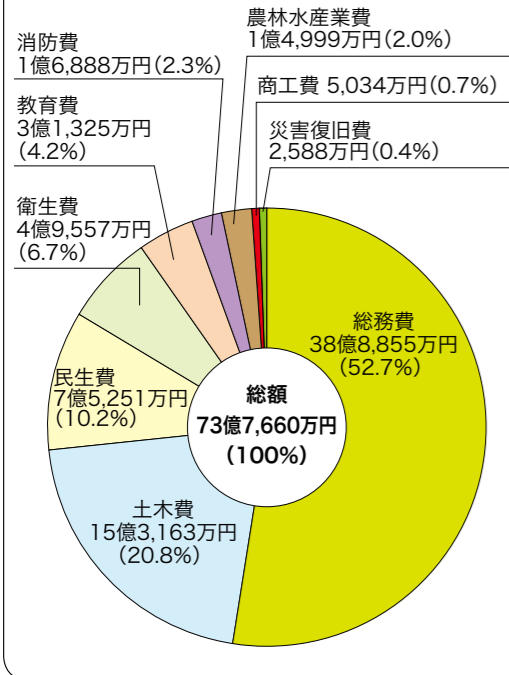
▶性質別（経済的性質を基準に分類したもの）

◀目的別（行政目的別に分類したもの）

※投資的経費とは…大部分が公共事業にあたる「普通建設事業費」で施設整備等に支出されます。次年度以降も支出の効果がある経費です。

※義務的経費とは…職員給与などの「人件費」や生活保護などの「扶助費」、地方債の元利償還費である「公債費」などで、支出が義務付けられている経費です。

5. 投資的経費の内訳



8. 市債現在高の状況

一般会計市債現在高（平成28年度末）	346億9,038万円
市民1人当たりの市債の残高	465,899円

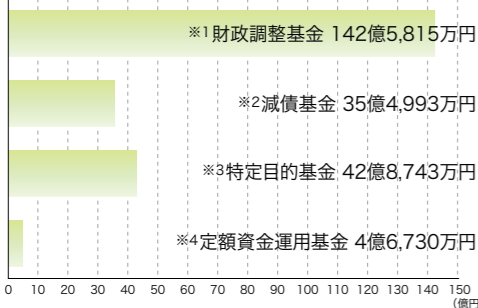
9. 行政財産の状況

（平成29年3月31日現在）

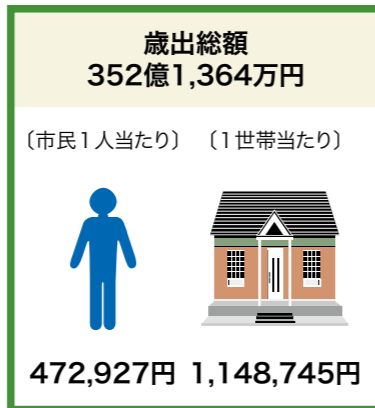
土地	1,965,595㎡	
建物延面積合計 422,391㎡	木造建物（延面積）	10,458㎡
	非木造建物（延面積）	411,933㎡

10. 基金の状況

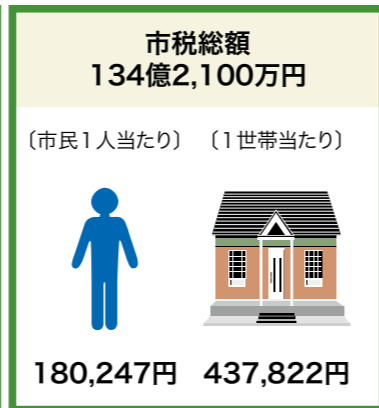
（平成29年3月31日現在高）



7. 行政経費支出の概況



6. 市税負担の概況



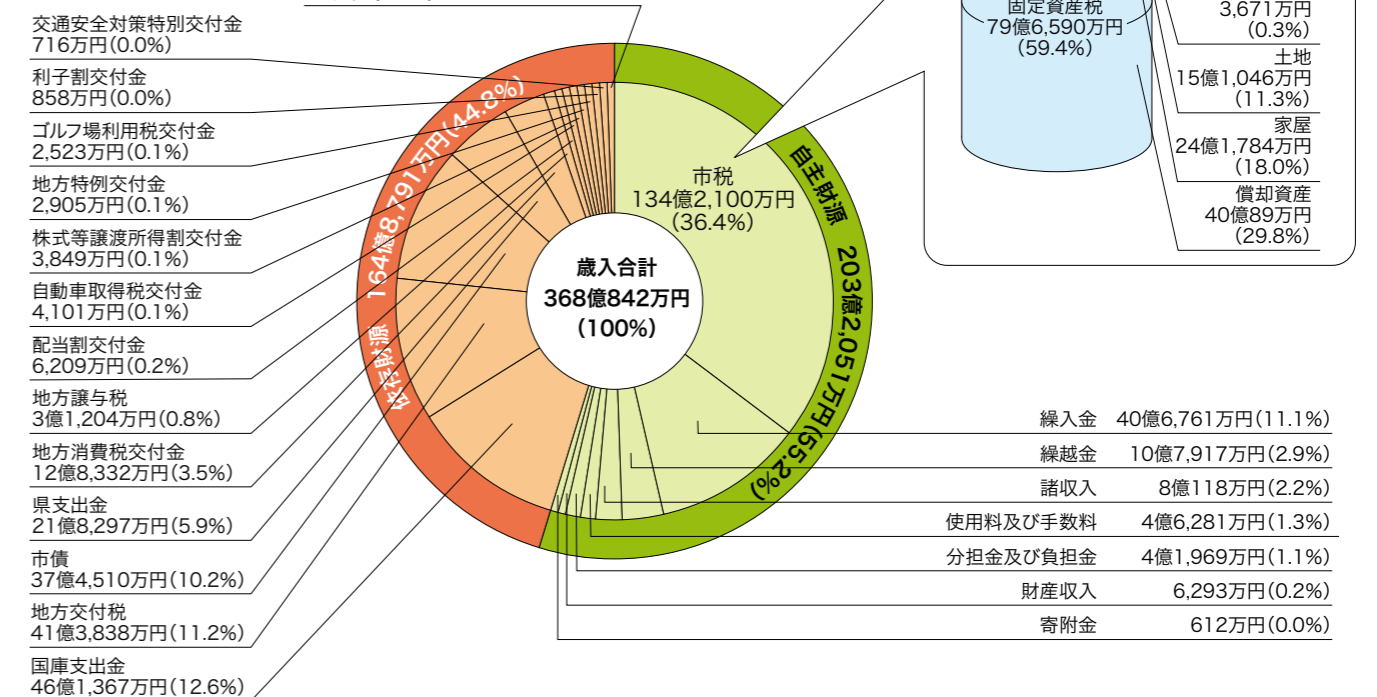
人口74,459人 世帯数30,654世帯（平成29年3月31日現在）

- ※1 財政調整基金…年度間の財源の不均衡を調整するための基金。
- ※2 減債基金…公債費の償還を計画的に行うために設けられる基金。
- ※3 特定目的基金…特定の目的のために設けられる基金。
- ※4 定額資金運用基金…特定の目的のために定額の資金を運用するため設置された基金。

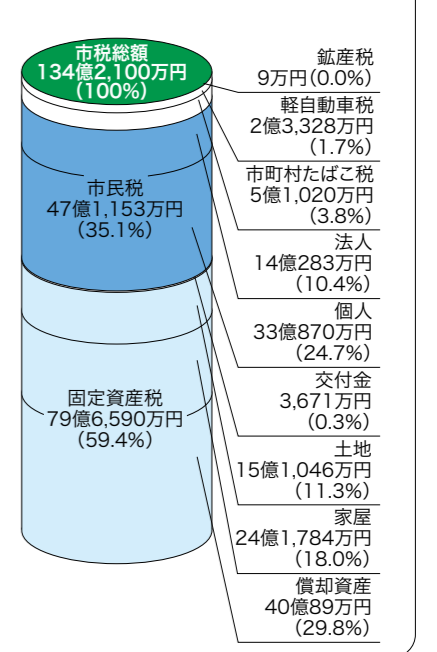
1. 決算収支の概況

歳入総額	A	368億842万円
歳出総額	B	352億1,364万円
歳入歳出差引額（A-B）	C	15億9,478万円
翌年度へ繰り越すべき財源D		14億8,216万円
実質収支（C-D）		1億1,262万円

2. 収入の概況



3. 市税の内訳



平成28年度決算に基づく 健全化判断比率と資金不足比率を公表します

◎「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（以下「財政健全化法」）第3条第1項および第22条第1項の規定に基づき、「健全化判断比率」と、公営企業会計の「資金不足比率」を公表します。

1. 健全化判断比率 …… いずれの指標も国の定める基準内です。

指 標	備 考	早期健全化基準	財政再生基準	説 明	
実質赤字比率	—	△0.70% (黒字)	※ 12.49%	20.00%	一般会計等の実質赤字の標準財政規模に対する比率です。 家計でいうと赤字額が年収に対してどれくらい占めているかを示したものです。
連結実質赤字比率	—	△8.56% (黒字)	※ 17.49%	30.00%	すべての会計の実質赤字の標準財政規模に対する比率です。 上記の実質赤字比率を特別会計・公営企業会計（水道・下水道等）を含めた全会計に適用したものです。
実質公債費比率	5.1%		25.0%	35.0%	公債費および公債費に準じた経費の比重を示す比率です。 年間の借金返済額が年収に対してどれくらい占めているかを示したものです。市に属する会計だけでなく一部事務組合等に対する負担も含みます。
将来負担比率	—	△31.4% (負担なし)	350.0%		地方債残高のほか一般会計等が将来負担すべき実質的な負債を捉えた比率です。 将来見込まれる負債が年収の何年分に当たるかを示したものです。一部事務組合、第三セクター等に対する負担や退職手当負担なども含みます。

注) 指標が「-」と表示されているのは、赤字比率等が負の数値（黒字等）となるためです。実際の数値は備考欄に表示しています。
注) 指標が1つでも早期健全化基準以上になると財政健全化計画を、財政再生基準以上になると財政再生計画を策定する必要があります。
※早期健全化基準は、標準財政規模に応じて変動します。

2. 資金不足比率 …… 各公営企業会計において、国の定める基準内です。

特別会計（公営企業会計）の名称	資金不足比率	経営健全化基準	説 明
阿南市水道事業会計	—	20.0%	公営企業の資金不足額の度合いを表す比率です。 公営企業の赤字額（資金不足額）が料金収入等の規模（事業規模）に対してどれくらい占めているかを示したものです。
阿南市公共下水道事業会計	—		
阿南市羽ノ浦農業集落排水事業会計	—		

注) 指標が「-」と表示されているのは、資金不足比率が0もしくは負の数値（黒字）となるためです。
注) 資金不足比率が経営健全化基準以上になるとその会計ごとに経営健全化計画を策定する必要があります。

【標準財政規模】

地方公共団体の一般財源の標準規模を示すもので、標準税収入額等と普通交付税額、臨時財政対策債発行可能額の合計です。

【公営企業会計】

法適用企業に係る特別会計、および法非適用企業に係る特別会計の総称です。阿南市では水道事業、公共下水道事業、羽ノ浦農業集落排水事業の3会計が該当し、原則として料金収入等により独立採算方式で経営を行うこととされています。

平成29年度 一般会計予算の執行状況

平成29年8月31日現在

歳 入			歳 出		
区 分	予 算 額	収 入 済 額	区 分	予 算 額	支 出 済 額
市 税	128億2,869万円	74億1,703万円	議 会 費	3億367万円	1億4,258万円
地 方 譲 与 税	3億2,100万円	7,396万円	総 務 費	36億9,035万円	12億2,975万円
利 子 割 交 付 金	1,200万円	939万円	民 生 費	104億5,281万円	40億2,114万円
配 当 割 交 付 金	8,700万円	2,024万円	衛 生 費	65億43万円	19億1,120万円
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	4,900万円	0	労 働 費	2,227万円	912万円
地 方 消 費 税 交 付 金	13億円	3億1,274万円	農 林 水 産 業 費	9億2,964万円	1億2,568万円
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	2,600万円	1,010万円	商 工 費	3億6,610万円	1億4,747万円
自 動 車 取 得 税 交 付 金	4,800万円	1,721万円	土 木 費	27億6,389万円	4億1,997万円
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	85万円	0	消 防 費	12億7,160万円	4億4,301万円
地 方 特 例 交 付 金	2,700万円	782万円	教 育 費	38億3,328万円	10億8,836万円
地 方 交 付 税	39億円	16億4,335万円	災 害 復 旧 費	6,955万円	3,875万円
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	950万円	0	公 債 費	32億1,346万円	4,688万円
分 担 金 及 び 負 担 金	3億9,083万円	1億3,087万円	諸 支 出 金	29億3,118万円	10億9,029万円
使 用 料 及 び 手 数 料	4億6,146万円	1億6,734万円	予 備 費	2,800万円	0
国 庫 支 出 金	47億6,106万円	11億4,636万円			
県 支 出 金	25億4,357万円	3,610万円			
財 産 収 入	1,060万円	1,586万円			
寄 附 金	148万円	3,504万円			
繰 入 金	45億4,397万円	0			
繰 越 金	14億8,217万円	15億9,477万円			
諸 収 入	8億715万円	4,508万円			
市 債	27億6,490万円	0			
合 計	363億7,623万円	126億8,326万円	合 計	363億7,623万円	107億1,420万円

特 別 会 計 の 概 況

平成28年度決算（見込）の状況			会 計 名	平成29年度予算の執行状況 （8月31日現在）	
歳 入 額	歳 出 額	差 引 額		歳 入 額	歳 出 額
627万円	573万円	54万円	住宅新築資金等貸付事業特別会計	237万円	40万円
36万円	0	36万円	加茂谷財産区運営事業特別会計	36万円	0
173万円	0	173万円	伊島財産区運営事業特別会計	177万円	0
92億9,770万円	90億4,345万円	2億5,425万円	国民健康保険事業特別会計	28億9,300万円	31億8,085万円
9,119万円	8,711万円	408万円	加茂谷診療所事業特別会計	2,612万円	2,481万円
1,262万円	1,262万円	0	伊島診療所事業特別会計	191万円	476万円
6億6,832万円	6億6,449万円	383万円	公共下水道事業特別会計	2,032万円	6,671万円
79億5,512万円	78億4,430万円	1億1,082万円	介護保険事業特別会計	32億415万円	25億9,870万円
1,059万円	561万円	498万円	伊島地区生活排水処理事業特別会計	619万円	204万円
3億7,040万円	3億6,688万円	352万円	学校給食事業特別会計	1億2,550万円	1億982万円
1,045万円	1,045万円	0	奨学資金貸付事業特別会計	1,249万円	244万円
4,815万円	3,606万円	1,209万円	春日野地域下水道事業特別会計	1,907万円	539万円
1億8,301万円	1億8,301万円	0	羽ノ浦農業集落排水事業特別会計	1,600万円	1,183万円
676万円	495万円	181万円	豊香野地区生活排水処理事業特別会計	275万円	102万円
9億8,638万円	9億6,681万円	1,957万円	後期高齢者医療特別会計	2億3,222万円	1億8,468万円
1,197万円	498万円	699万円	西春日野生活排水処理事業特別会計	967万円	166万円

水 道 事 業 会 計 の 概 況

平 成 2 8 年 度 決 算 の 状 況							
	予 定 額	収 入 額	比 率		予 定 額	支 出 額	比 率
収益的収入	15億4,992万円	15億2,604万円	98.5%	収益的支出	15億1,721万円	13億9,661万円	92.1%
資本的収入	7億3,726万円	9,174万円	12.4%	資本的支出	13億3,756万円	6億4,781万円	48.4%

平成28年度 国民健康保険事業 特別会計 決算概況

問い合わせは
保険年金課
(☎22-1118)へ

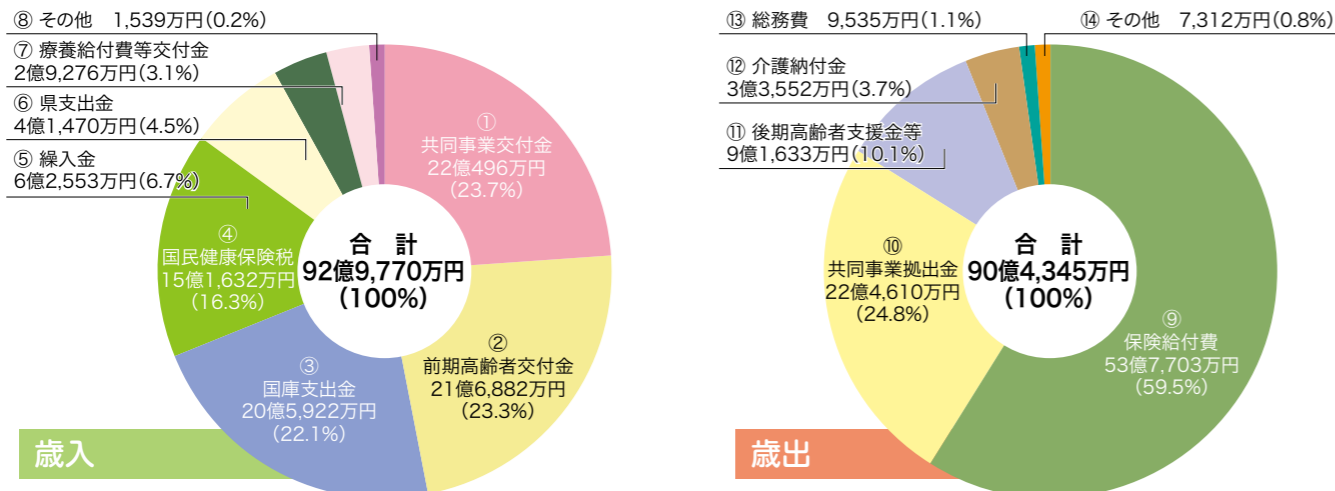
ご理解ご協力をお
願ひします。

平成28年度の国民健康保険事業特別会計決算における歳入総額は92億9770万円(対前年度比0.88%増)、歳出総額は90億4345万円(対前年度比1.88%減)で収支差引は、2億5425万円の黒字となりました。

国民健康保険事業は、国民健康保険税、国や県から交付される国・県支出金、さらには、前期高齢者や退職被保険者の医療費等に充てられていた交付金、療養給付費等交付金などで賄われています。

阿南市の国民健康保険税(現年度)の収納率は94.53%で、前年度に比べて0.28%減少しました。国民健康保険は、被保険者の皆さんで支えあって成り立つ制度であり、国民健康保険財政の安定した運営を図っていくためにも、国民健康保険税の完納について、ご理解ご協力をお願いします。

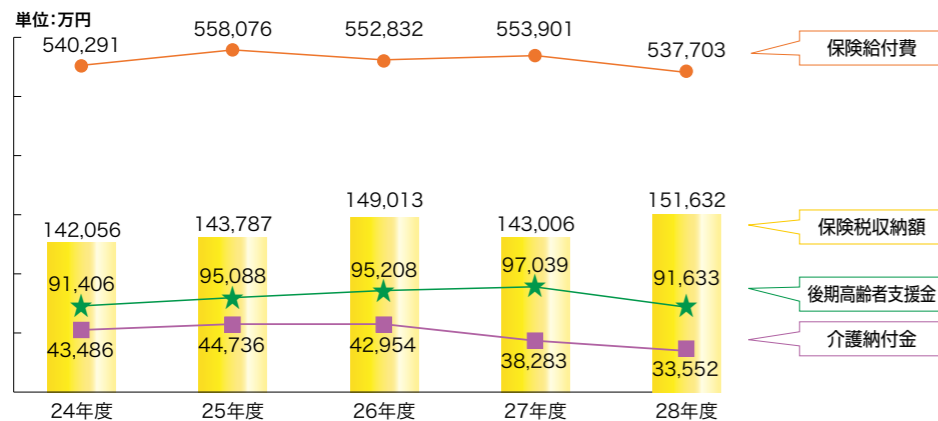
平成28年度 歳入・歳出の主な割合



- ① 県内市町村の保険財政の安定化を図るために、高額な医療費等について費用負担を調整するための交付金
- ② 医療保険者間の前期高齢者(65歳以上75歳未満)の偏在による不均衡を是正するため、前期高齢者加入率が全保険者平均を上回るときに交付される交付金
- ③ 国が支出する負担金や交付金
- ④ 納めていただいた国保税
- ⑤ 一般会計からの繰入金
- ⑥ 県からの支出金
- ⑦ 退職者医療制度対象者の医療費等を賄う交付金
- ⑧ 第三者納付金、人間ドック実費徴収金など

- ⑨ 主に医療費等の支払いに充てる費用
 - ⑩ 県内市町村の保険財政の安定化を図るために、高額な医療費等について費用負担を調整するための拠出金
 - ⑪ 後期高齢者医療制度運営のための支援金
 - ⑫ 介護保険の運営のための納付金
 - ⑬ 事務費など
 - ⑭ 人間ドック助成費、特定健診に係る費用など
- ※四捨五入の関係で総計が100%にならない場合があります。

保険税収納額と保険給付費等の推移



被保険者数と世帯数(年度平均)

被保険者数 **16,553人**
(前年度比710人減)

世帯数 **9,972世帯**
(前年度比248世帯減)

1人当たり総医療費
(療養諸費費用額)
387,888円
(前年度比4,199円増)

1人当たり国保税
(現年度の調定額)
92,420円
(前年度比10,180円増)
※財政調整基金の保有額176円

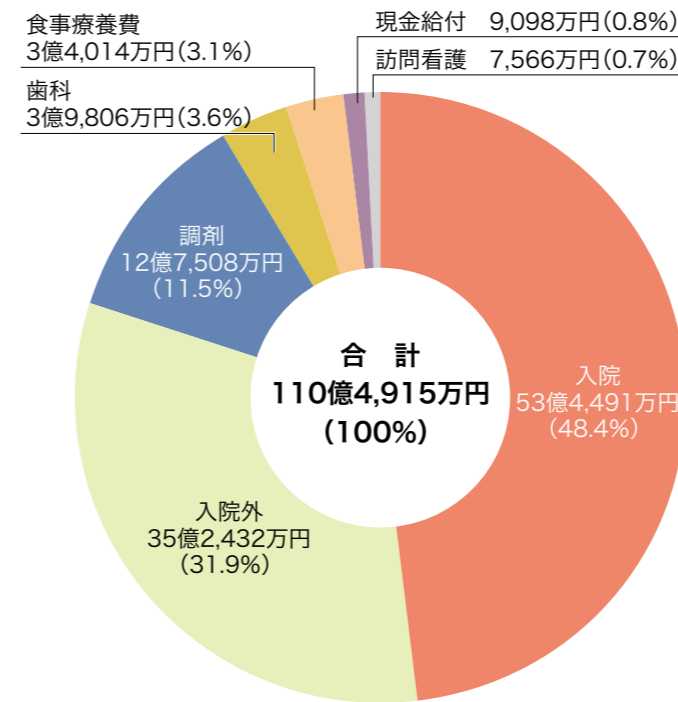
平成28年度 保健事業の実施状況等

	定員	受診者		受診者および実施者
日帰り人間ドック	360人	356人	特定健康診査	4,181人
脳ドック	110人	110人	特定保健指導	703人

平成28年度 後期高齢者医療 の概況

後期高齢者医療費の状況

(※四捨五入等の関係で端数調整しています。)



人口の高齢化が進むことにより、今後も医療費の増加が継続と予想されます。医療費を適正に使うために、日頃から上手な受診と健康管理を行いましょ。

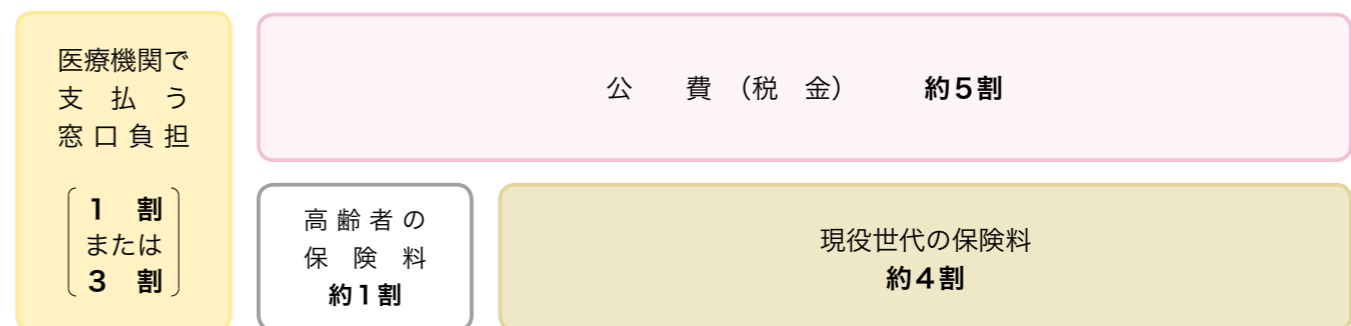
被保険者の皆さんの納める保険料は、公費や現役世代の支援金とともに大切な財源となります。

上手なお医者さんのかかり方

- ・急病などの場合を除き、時間外や休日の受診を控えましょ。
- ・お医者さんのかかりもち(はじめて受診・重複受診)はやめましょ。
- ・かかりつけ医を持ちましょ。
- ・お医者さんを信頼して指示を守りましょ。
- ・ジェネリック医薬品を活用ましょ。

問い合わせは 保険年金課 (☎22-8064) へ

後期高齢者医療費の負担のしくみ



現在の後期高齢者医療制度では、高齢者の方々にかかった医療費の一部を医療機関の窓口で負担していただき、それ以外の費用については、上図の割合で負担しています。

阿南市における最近の後期高齢者医療費等の推移

